

第 31 期 第 3 回静岡県青少年環境整備審議会会議録（要旨）

第 2 部会第 5 分科会（図書）

日 時	令和 4 年 9 月 9 日（金）午後 2 時から午後 3 時 45 分まで	
場 所	県庁西館 8 階教育委員会第 3 会議室	
出席者 職氏名	委 員	山内健史（分科会長）、岩切信一、加藤良玄、銅崎順子 安田佳子
	事務局	社会教育課

1 受付、出席者の確認

2 定数確認

委員総数 5 人中 5 人の出席により、委員の半数以上が出席したため、審議会規則の規定に基づき、会の成立が確認された。

3 議事

(1) 優良図書推奨諮問に関する審議

分科会長：各委員の意見を踏まえながら、推奨可否、推奨対象、推奨基準を決定していく。

ア 図書名「二平方メートルの世界で」

(ア) 審議内容

委員：推奨する。小学校 3 年生の子が書いた作文をもとに発刊された本。本当に小学校 3 年生が書いたのかと思うほどしっかりした内容。一人の子が感じた様々な感情、病気をもちながらも前向きさを持っていたり、不安をもっているところを上手に織り込んで一冊の本にしている。素直な気持ちで書かれている点はいろんな方に読んでいただきたい。大人も感動するし、物事を多角的に見ることが出来る人が読むとより感動が得られると思う。小学校 3 年生が読んでもわかると思うし、多年層に向けて推奨できる本。推奨対象は小学校中学年と高学年。推奨基準は(1)(2)

委員：推奨する。最後は大人が読んでも涙してしまう、非常にせつなく、でも前を向くという非常に心打たれる作品。やはり小学校 3 年生が書いたというところもあり、その年齢に読んでもらいたい。推奨対象は小学校中学年と高学年。推奨基準は(2)(5)

委員：推奨する。大人の方が感動するのではないか。感性が豊かでこういった文章が小学校中学年に読めるかは疑問であるが、推奨対象は小学校中学年。推奨基準は(1)(2)(5)(7)

委員：試読した 3 名の委員の意見が一致しており推奨とし、推奨対象は小学校中学年以上、推奨基準は(1)(2)(5)とすることでいかがか。

委員：異議なし

(イ) 答申

- a 推奨可否 推奨する
- b 推奨対象 小学校中学年以上
- c 推奨基準 (1)(2)(5)

イ 図書名「北守将軍と三人兄弟の医者（ほくしゅしょうぐんとさんにんきょうだいのいしゃ）」

(ア) 審議内容

委員：推奨にはあたらない。ところどころ難しい言葉遣いがあり、全体的に見ても何を訴えたいのかがわからない。また、「お花畑を踏み散らして」という表現があるが、その点が特に引っかかった。加えて、特別な人は特別に見てもらえるという点も引っかかる。

委員：推奨する。文章が古風で、今の時代にそぐわないようなところは散見される。ただファンタジーとして読めば面白いし、絵もきれい。ドタバタコメディ感もあって、おとぎ話としては面白い。ただ小さい子には向かない。そうした表現もある。小学校高学年、中学生以上であればよいのではないか。実際には、ただ子供にこの本を与えるのではなく、国語の教科書として使ったりすれば、この本の面白みは出るのかなとも思う。古風な文体とかも日本人であれば知っておいてもらいたいということもあり推奨するとした。推奨対象は小学校高学年。推奨基準は(2)(7)

委員：推奨するとしたが正直迷った。決して読みやすい本ではない。低学年は最初の1ページでやめるのではないか。高学年であれば、昔ながらの言い回しや表現の仕方に興味を示して読む子もいるのかな。昔の方が書いた文なので現代にはそぐわない部分もあるが、そこから日本語も発展して今に至っているという観点からすれば、言葉の移り変わりという点で見れば一つの勉強になるのかなと思う。好き嫌いは分かれると思うが、おとぎ話として面白いと思う子もいると思う。本の好きな子からしたら受け入れるかも。昔の本に親しむという点からあえて推奨するとした。

委員：授業での活用など、補助がないと理解できないような本であるならば推奨図書としてはどうかと思う。

委員：好き嫌いは分かれるし、最初の1ページが難しく、読者を選ぶところはある。ただ、難しい本だからこそ読んでもらいたいという点もある。

委員：これだけ意見が割れる中、推奨するという判断は難しいのではないか。

委員：率直に言えば、読み進めれば読み進める程、面白い本ではあるが、最初の1ページが難しい。そこで挫折する可能性もあり、読者を選ぶ本だとは思ふ。また、誰もがなじみやすい本ではないとは思ふ。

委員：広く推奨するという観点からすれば、好き嫌いがあったりする可能性がある本であり、難しいのではないか。

委員：委員の皆さんの審議の結果、推奨にはあたらないという結論としたいがよろしいか。

委員：異議なし。

(イ) 答申

- a 推奨可否 推奨にはあたらない
- b 推奨対象 ー
- c 推奨基準 ー

ウ 図書名「チバニアン誕生 方位磁針のN極が南をさす時代へ」

(ア) 審議内容

委員：推奨する。ただ最初の一章、二章が読みづらい。この本の中でも書いて

いるが、三章、四章を先に読んでから一章、二章に戻ると全体像の理解ができる。三章で著者の大学時代のことが書かれていて、この本が書かれた背景が見えてきてから読めるようになった。そういう意味では不親切な本だというのはある。ただ、この分野に興味や関心が高く、読むに足る知識量をもった子供には知的好奇心を高め、さらにステップアップする材料を提供すると思う。また、スマホで検索しながら読むような現代の子がいますとすれば、こういう本があってもいいのではと思います、推奨するとした。推奨対象年齢は小学校高学年。推奨基準は(7)

委員：推奨する。スマホで検索しながらでないとなかなか読み進めることが難しい本ではある。ただ、この分野に興味がある子にとっては、たまらない本だと思う。そういう意味では読み手を選ぶ本ではある。地磁気の逆転など、専門的な探求について記載されているが、文章自体は平易に記述されており、全体として興味深く読むことができる。推奨対象年齢は小学校高学年と中学生。推奨基準では(5)(7)

委員：推奨する。編集の問題もあって読みづらいし、通読するのは難しい。ただ、なじみの少ない地磁気逆転と地質の話をわかりやすく説明し、できるだけ子供達が興味を持つように工夫していて、興味を持って読める。チバニアンという日本で初めて地質年代として名前が使われたというニュース的なこともあるし、今まで光が当たらなかった地質学という分野を取り上げたことは、子供達にとっては有益なことではないかと思う。こういう分野に進みたいと考えている子供にとって有益である。推奨対象年齢は小学校高学年。推奨基準は(3)(4)(7)

委員：これは推奨するという事。推奨対象は小学校高学年以上、推奨基準は(3)(4)(5)としたいがいかか。

委員：異議なし

(イ) 答申

- a 推奨可否 推奨する
- b 推奨対象 小学校高学年以上
- c 推奨基準 (3)(4)(5)

エ 図書名「黄色い星 ユダヤ人を守った国王とデンマークの人たちの物語」

(ア) 審議内容

委員：推奨する。差別やいじめなど身近な問題を考えるきっかけになる。推奨対象は中学生。推奨基準では(3)(6)が該当

委員：推奨する。一人の国のリーダーがいかにして国民を守るかというお話。今日様々なところで聞かれるいじめや差別、虐待などの課題について、一人のリーダーによって風向きが変わるのではないかと感じさせられた。素直な気持ち、邪心なく読んでもらいたい。国王がなぜそのような行動をとったのか、なぜそこまで人のことを考えることができるのか。対象年齢は小学校高学年と中学生。推奨基準では(1)(4)が該当

委員：推奨する。王様の国民一人ひとりを大切に思う気持ちがよくわかる。人が真心に触れるとその心が伝わり理解されるということを教えている。また、人を信じることの大切さを教え、人間みな「命の大切さ」は平等であるということを教えている。また人間として生きていく上でのとて

も大切なことを正直に教えていて、それが平和を築く一番のもとの心である。小学校高学年くらいに対しては、理解されなくても教えなくてはならないこと。それを身につけ、人としての判断基準をつくっていく。そうした大切なものをいっぱい教えている本。推奨対象は小学校高学年。推奨基準は(1)(2)

委員：推奨するとし、推奨対象は小学校高学年以上、推奨基準は(1)(2)(4)としたいがよろしいか。

委員：異議なし

(イ) 答申

- a 推奨可否 推奨する
- b 推奨対象 小学校高学年以上
- c 推奨基準 (1)(2)(4)

オ 図書名「すずりくん 書道具のおはなし」

(ア) 審議内容

委員：推奨する。文房四宝と呼ばれる書道具の話で、その中で硯にフィーチャーして面白く書いている話。絵はかわいくて綺麗だが、正直どうかなという点はある。四宝の中で、硯以外の3つについてはほぼ触れられておらず、偏りすぎていると感じた。さらに硯についてそこまで掘り下げられているわけではなく、特筆すべき点があるとは感じない。ただ、書道というものに興味をもつきっかけとして、その一助になればという観点から推奨するとした。推奨対象は小学校中学年。推奨基準は(3)(7)

委員：推奨にはあたらない。文房四宝について興味深く学ぶことができる。絵もかわいい。ただ、「1000年前は奈良時代」と書かれていたが、正しくは平安時代である。子供が対象の本であれば、「1300年前」とすべき。

委員：推奨にはあたらない。硯が王様というのはわからないわけではないが、やはりみんな助け合って、社会だって助け合ってできているわけで、そういったことが例えになるような表現が欲しい。昔の字がいいのはわかるが、王羲之の序を見ても子供にはわからない。判断が難しい。子供にはそもそも読めない。絵として表現するならわかるが、字だと読み方がわからない。大人にもどういう意味かがわからないのではないか。

委員：委員の皆さんの意見を踏まえ、推奨にはあたらないという結論としたいがよろしいか。

委員：異議なし

(イ) 答申

- a 推奨可否 推奨にはあたらない
- b 推奨対象 -
- c 推奨基準 -

カ 図書名「くまのピエール」

(ア) 審議内容

委員：推奨する。挿絵がとてもかわいい。読んでいて心が和む。殺伐としたことが多い中で、子供達にこういった本、心が和む本をできるだけ紹介してあげたい。推奨対象は小学校低学年。推奨基準は(2)

委員：推奨する。絵がかわいく絵本として優秀。読み聞かせ用としても適している。対象年齢は幼児、小学校低学年。推奨基準は(2)(7)

委員：推奨する。楽しく、かわいく、冒険心いっぱいなピエール、だけどもぬけなところがいい。くまのぬいぐるみの冒険を、子供達が追体験することができ、ほのぼのとする。推奨対象は小学校低学年。推奨基準は(2)(7)

委員：推奨するとし、推奨対象は幼児以上、推奨基準は、(2)(7)とする。

(イ) 答申

- a 推奨可否 推奨する
- b 推奨対象 幼児以上
- c 推奨基準 (2)(7)

キ 図書名「そらのことばが降ってくる 保健室の俳句会」

(ア) 審議内容

委員：推奨する。中学生が、この短い語句の中で、これだけ多くの気持ちを入れて詠んでいることに驚いた。同時に、俳句の奥の深さも感じた。全く接点のない子たちが句会の中で自分の意見を言いながら、折り合いをつけながら仲良くなっていく、まさに現代にあってほしい姿であると感じた。俳句というものに親しみと興味を持つ一冊。対象年齢は中学生。推奨基準は(2)(4)

委員：推奨する。俳句というものの奥深さを気づかせてくれる本。「言葉」をテーマにしており、俳句に限らず近年のSNSを使った中傷などに対して警鐘を鳴らす側面をもった小説。多感な年代の子たちにはいくつかの気づきを与えてくれると思う。推奨対象年齢は中学生と高校生。推奨基準では(2)(4)が該当

委員：推奨する。俳句を通した3人のやりとりに感動させられた。相手の心を思いやったり、自分の心をうたったり、またそれを相手がどう読み取るかを考える。そのやりとりは自己をみつめさせる非常に大切なもの。人のことを考えたり、自分の心を見つめたり、そして友情が芽生えたりと、素晴らしい作品。涙さえ出そうになった心を洗う作品である。推奨対象は中学生。推奨基準は(2)(7)

委員：地元の土手のフェンス沿いに中学生が書いた俳句が並んでいるが、どれも素晴らしい。言葉で心が洗われるものがある。これは推奨するという事で、推奨対象は中学生以上、推奨基準は(2)(4)(7)とする。

委員：異議なし

(イ) 答申

- a 推奨可否 推奨する
- b 推奨対象 中学生以上
- c 推奨基準 (2)(4)(7)

ク 図書名「タフィー」

(ア) 審議内容

委員：推奨する。SNSを使う現代の子供達からすれば、文脈ではなく、行間であったり、空白の部分に隠された言葉、著者が訴えたいものを考えるという形式は斬新。内容は、父親からの虐待、母親の蒸発、父親の愛人

も家庭内暴力で蒸発し、本人はその愛人を追いかけて家出、その後愛人とはぐれてたどり着いた先が認知症のおばあさんの家、と設定は難しい。ただ切実な問題の中で、自分を見失わない、自暴自棄にならない、自分自身で生きていく道を探していくというメッセージ性がある。推奨対象は中学生。推奨基準は(7)とした。

委員：推奨する。内容的には重たい。ただ、いじめや虐待など、必ずしも幸せな境遇とは言えない家庭に生まれた子供がいることは非現実的なことではない。共感する子がいて欲しくはないが、現代だからこそ読んでもらいたい。中学生の女の子が一人で色んなことを考えて、自分の身を守るの自分しかいないという状況の中で、行動力を持って進む姿は素晴らしい。最後は明るい光が見えてくる。途中一言だけしかないページがあるが、そこに隠されたメッセージを思い巡らせ、女の子が考えていたこと、その気持ち、何をしようとしていたのかなど、すごく考えさせられた。多くの人の目にとまって欲しい本。推奨対象は中学生。推奨基準は(7)

委員：推奨する。時間の流れや登場人物がどのような人間関係にあるかすぐにはわからないところがあるが、読み進めると理解できる。タフィーの行動、考え方には興味と同情、共感さえ覚える。読む人に色々と考えさせてくれる作品。推奨対象は高校生。推奨基準は(4)(5)

委員：推奨するとしたい。推奨対象は中学生以上とし、推奨基準は(4)(5)(7)としたいがいかがか。

委員：異議なし

(イ) 答申

- a 推奨可否 推奨する
- b 推奨対象 中学生以上
- c 推奨基準 (4)(5)(7)

ケ 図書名「世界でいちばん幸せな男 101歳、アウシュヴィッツ生存者が語る美しい人生の見つけ方」

(ア) 審議内容

委員：推奨する。アウシュヴィッツやユダヤ人の迫害・ホロコーストについてはアンネフランクとかが有名。若い人の話はよく聞くが、彼はユダヤ人の男性、しかも中学、高校、20代といった大人の時にホロコーストをドイツ人と言って生き延びた、色んな意味で新鮮。運のよさ、彼の生命力の強さ、今の子供にも知っておいて欲しい。生きる力、ナチスが行った非人道的な行為を知ってもらうためには、体験者の話が一番いい。原爆も同じ。事実の強さをこの本から感じた。対象は高校生。推奨基準は(1)(2)(4)(6)(7)

委員：推奨する。タイトルだけ見ると「マインドセット」について書かれた本に見えるが、テーマとしては、ホロコーストといった現代の若者が想像しがたい事実が書かれている。こういったことが事実としてあったことの知識自体が若者達に希薄になってもらいたくない。事実は伝えていかなければならないし、日本だけでなく、ドイツ人の立場、ユダヤ人の立場でこういった話が読めるのは大変貴重なこと。推奨対象は中学生と高

校生。推奨基準は(1) (4) (5) (7)

委員：推奨する。日本人として忘れてはいけない、20世紀の大きな出来事として決して忘れてはならない問題を著者自身の体験談として集大成されているこの本を多くの若者に読んでもらいたい。少しでも考えるきっかけを与えることになれば。対象は高校生。推奨基準は(1) (5)

委員：この本は推奨するというので、推奨対象は中学生以上。推奨基準は(1) (4) (5) でいかがか。

委員：異議なし

(イ) 答申

- a 推奨可否 推奨する
- b 推奨対象 中学生以上
- c 推奨基準 (1) (4) (5)

※ 静岡県青少年のための良好な環境整備に関する条例による推奨基準

- (1) 生命を尊重する心を育むもの
- (2) 他人を思いやる心や感動する心などを豊かな人間性を育むもの
- (3) 正しい知識や技能を習得し、活用する力を育むもの
- (4) 自ら学び、考え、責任ある行動がとれる資質を育むもの
- (5) 家族、地域、郷土を愛する心を育むもの
- (6) 社会生活に必要な良識と倫理観念を育むもの
- (7) その他特に青少年の健全育成に役立つもの

(2) 有害図書類指定に関する審議

緊急指定された次の図書類について報告を受け、確認した。

番号	種別	図書類名	発行所	指定日	通知番号
1	雑誌	るんるんナビマガジン APRIL. 2022 No. 237	(有)メディックス	R4. 4. 11	教社第 35 号
2	雑誌	るんるんナビマガジン MAY. 2022 No. 238	(有)メディックス	R4. 5. 9	教社第 92 号
3	雑誌	実話ナックルズ 月刊 6・7 月合併号	(株)大洋図書		
4	雑誌	るんるんナビマガジン JUNE. 2022 No. 239	(有)メディックス	R4. 6. 6	教社第 146 号
5	雑誌	るんるんナビマガジン JULY. 2022 No. 240	(有)メディックス	R4. 7. 11	教社第 230 号
6	雑誌	実話ナックルズ 月刊 8・9 月合併号	(株)大洋図書		
7	雑誌	るんるんナビマガジン AUGUST. 2022 No. 241	(有)メディックス	R4. 8. 4	教社第 273 号

4 静岡県青少年のための良好な環境整備に関する条例の改正について事務局より、博物館法の改正に伴う、引用条項の改正予定について報告を受けた。

5 閉会